



令和4年11月21日

報道機関 各位

国立市市長室広報・広聴係

戦争体験を次世代により広く伝えるために 戦争体験アーカイブ事業で作製した パネル・音声映像化し、 YouTube「国立市チャンネル」に掲載

市では、地域にゆかりのある戦争体験者の体験談をパネルや冊子、肉声で残す「戦争体験アーカイブ事業」を、2021年に日野市と多摩市と3市で連携し行いました。本事業で作製した音声パネル(音筆(音声再生機器)を使用し体験者の肉声を聞く)の展示に多くの方にお越しいただくとともに、同時に配布しました冊子も多くの方に手に取っていただきました。

この度、本事業の国立市選出分である10編について、会場にお越しになっていない方にも戦争体験アーカイブに触れていただくことで、戦争体験者と戦後世代がつながり、一人ひとりが平和や戦争について考え行動するきっかけになることを願い、パネル・音声を映像化し、国立市公式YouTubeアカウント「国立市チャンネル」に掲載いたしました。

このことについて広く周知したく、ぜひ、貴媒体での取材・掲載方、お願いいたします。

【戦争体験アーカイブ事業】

2021年度で戦後76年を迎え、戦争の記憶がある方の多くは80代以上となることから、戦争を体験した方の「生」の体験談の保存は、地方自治体の平和施策の大きな課題となっている。この課題認識を共有する日野市・多摩市・国立市の3市で、地域にゆかりのある戦争体験者の体験談をパネル及び冊子としてアーカイブ(記録・保存)し、次世代に戦争の悲惨さや、平和の尊さを伝えていく事業。「次世代に伝えたいあなたの戦争体験」をテーマに、3市在住またはゆかりのある方、その方から聞いた戦争体験を証言できる方を対象に戦争体験を募集した。3市あわせて70編の応募があり、うち30編を選出。選出した体験談をもとに音声パネルと冊子を作製し、各所でパネル展示を開催。



パネル「また、あしたあそぼうね」
にへいはるよ
二瓶治代さん。

問い合わせ

国立市政策経営部
市長室平和・人権・ダイバーシティ推進係
TEL: 042-576-2111(内線 256)